三宝の釣鐘

寺院の入口から本堂へ続く階段の途中にあるのは、3つの金色の鐘が下がった鐘楼です。それらの鐘は三宝の釣鐘（三つの宝の鐘）として知られており、仏教の「三宝」と言われている、佛、法、僧を表しています。「佛」は釈迦（ガウタマ・シッダールタ）のように悟りを開いた人を意味し、「法」は仏の教えと宇宙の自然律を表し、「僧」は自らの信仰を実践し広める仏教徒の集団です。三宝の釣鐘のそれぞれには、三宝のうち1つの漢字が書かれています。

多くの寺院は鐘を所有していますが、3つの鐘が配置されているのはかなり珍しいことです。このデザインは、3つの異なる音色を持つ3つの鐘が、仏教の三宝の宗教的なコンセプトを分かりやすく伝えるように、という願いを込めて考案されました。参拝者は、三宝の釣鐘を宝（佛、法、僧）の順番に鳴らし、山腹に反響するこだまを聞くことができます。